

保護者の皆様

広島市立中島小学校  
校長 久松 ひとみ

## 平成24年度 「基礎・基本」定着状況調査結果についての概要(お知らせ)

平成24年6月12日、広島県内の小学校5年生全員(516校・25,362名)を対象に、国語・算数における前学年までの学習内容の定着状況調査及び生活と学習に関する意識・実態についての質問紙調査が実施されました。その結果は広島県教育委員会のホームページ(ホットライン教育ひろしま)に通過率(正答率+準正答率)などが公表・掲載されています。

本校では、今回の調査結果を今後の指導に役立てるために、《国語》《算数》《生活と学習に関する意識・実態調査》それぞれに関する分析を行いましたので、その概要をお知らせいたします。

- 《国語》
- ・ 県平均通過率……75.8%
  - ・ 市平均通過率……74.1%
  - ・ 本校平均通過率…75.7%

本校の平均通過率は、市の平均は上回っていますが、県の平均を下回っています。領域別に見ると「書くこと」が他の「聞くこと」「読むこと」「言語事項」の領域に比べ低い結果でした。

今後は、読書タイム等の充実を通して、

- ・ 論理的な文章を読んだり、書いたりする力をつける指導
  - ・ 表現したり理解したりするために必要な語句を増やす指導
- を継続していきます。

- 《算数》
- ・ 県平均通過率……75.0%
  - ・ 市平均通過率……72.9%
  - ・ 本校平均通過率…72.1%

本校の平均通過率は、県・市の平均を下回っています。上記結果を領域別に見ると、「量と測定」「図形」が他の「数と計算」「数量関係」の領域に比べ、やや低い結果でした。

今後は、算数的活動や帯タイム等の充実を通して、

- ・ 日常生活との関連や見当づけを重視し、体験を通して量や図形を実感させる指導
  - ・ 表やグラフの読み取る力をつける指導
  - ・ 小数、分数などの計算力をつける指導
- を継続していきます。

## 《生活と学習に関する意識・実態調査》

本校の児童は、基本的な生活習慣が身に付いており、ほとんどの児童が学校は楽しいと感じています。また、規範意識も高い結果が出ています。しかし、家庭では、テレビを見たり、ゲームをしたりして過ごしている児童が半数以上を占めているのが気になります。さらに、自分の良さが周りの人から認められていると感じている児童が多くないのも気になるところです。今年度から、努力事項として、道徳教育に取り組んでいます。子どもたち一人一人が、互いの良さを認め、共に伸びていくような関係を築いていけるよう、児童理解に努めたり、個別指導を進めたりしていきたいと思っております。